

# 長野県 公運協だより

第148号

発行所  
長野県公民館運営協議会  
長野市若里1-1-4  
県立長野図書館内  
電話(026)217-6256  
FAX(026)217-7015

## 「県公運協を支援する会」が発足



長野県公民館運営協議会を支援する会

会長 滝澤澄夫

### 公民館報関係者研修会

北相木村公民館

主事 石井肇

日本初の公民館「妻籠公民館」が昭和二十一年に設置されて以来、長野県の公民館は住民の活動に支えられ発展し、現在全国一

しかし今、公民館のコミュニティセンター化や指定管理が進む中、さらに新型コロナウイルス感染の影響により公民館運営が困難な状況が生まれております。

このような中、県公運協は今まで以上に県下公民館との連携を図り、存続を維持し、公民館を守りリードしていく必要性が増しておりながら、皆様のご協力により川上村文化センターにて通常開催することができました。

全体講演は、南相木村公民館広報部長を務めていらっしゃる菊池昌彦氏に「読む人に伝わる文章の書き方」という演題で講演をして頂きました。菊池氏はこれまでフリーライターとしても多くの書籍を出版され、ウェブメディア等でもご活躍されてきました。文章を書くプロからのお話は、普段公的

昨年度はコロナ感染拡大防止のためにオンライン開催となりましたが、今年度は感染防止対策をとりながら、皆様のご協力により川上村文化センターにて通常開催することができました。

最後になりますが、開催に向けての準備、当日の運営にご協力いただきました東信地区公民館運営協議会の皆様、県公民館運営協議会の役員並びに事務局の皆様にも改めて御礼申し上げます。行き届かなかつた点も多々あり、皆様にはご不便をおかけしましたが、ご尽力頂きまして本当にありがとうございました。

協力を賜りながら、県公運協及び県下全ての公民館の更なる発展のための支援を目的とする任意団体であります。この会の趣旨に賛同する会員をもつて作られますので是非ともご入会くださいますようお願いします。公民館に関する全ての課題に対応いたしますので、お気軽に活用いただきたいと思っております。

また午後には四つの分科会を行いました。文章の作成に関わる事だけでなく、人に興味を持つてもらえるキャッチコピーの作り方、SNSやZoome等を使用しての情報発信の方法や写真撮影のノウハウ等、多岐にわたる分科会となりました。分科会に参加して頂いた方からも「とても楽しかった」とお声を頂きました。講演で講師を務めて頂いた菊池氏をはじめ、分科会で話題提供をして頂いた方々にこの場を借りて御礼申し上げます。

この会は、県公運協の活動方針に基づき、関係各位のご理解とごリードしてきました。

県下の各公民館を支え、守り、県下の各公民館を通じて県下の各公民館を支え、守り、

## オンライン講座に参加して



東御市公民館  
館長 原澤利明

今年度から新

規事業としてス  
タートした「公

民館支援講座」

は、私のような駆け出しの公民館

長にとって大変ありがたい企画で  
す。というのも、昨年は新型コロ

ナの影響で研修の機会や、会合等  
で諸先輩のお話を伺う機会が極端

に減ってしまったからです。この  
チャンスを逃すわけには行かない  
と思い参加させていたいた二回

の講座の感想を述べたいと思いま  
す。

第一回は「新任館長研修」でし  
た。「公民館の基礎知識」編集委

員会の副委員長をされた橋井弘治  
講師からは、公民館の基礎を大変

わかりやすくポイントを突いて解  
説いただきました。この本は、館

長就任直後、熟読するよう薦めら  
れ何度となく読み返しましたが、  
理解不十分な点も多々あつたため、  
学び直しの機会となりました。筒

井美保子講師からは、ご自身の館  
長時代の様々な経験談を伺うこと  
ができました。特に、失敗談とし  
て話された内容は、今後私達も直  
面する可能性がある事例で「こう  
いう話が聞きたかった！」と私を  
満足させてくれました。



長時代の様々な経験談を伺うこと  
ができました。特に、失敗談とし  
て話された内容は、今後私達も直  
面する可能性がある事例で「こう  
いう話が聞きたかった！」と私を  
満足させてくれました。

第二回は、公運協役員として活  
躍された元公民館長三氏と柏澤会  
長による「公民館座談会」でした。  
三氏それぞれが、地域に根ざして  
取り組まれたご自身の実践を語っ  
てください、大変参考になりました。

①学校との関わり、②住民目  
線での運営による公民館利用者の  
取り組まれたご自身の実践を語っ  
てください、大変参考になりました。  
①学校との関わり、②住民目  
線での運営による公民館利用者の  
取り組まれたご自身の実践を語っ  
てください、大変参考になりました。

## ブロックニュース 南信

### 「夏休み子ども講座」

駒ヶ根市赤穂公民館

主事 片桐 縁

赤穂公民館では七月二十八日か  
ら八月五日までの六日間で市内の  
小学生を対象に「小学生夏休み子  
ども講座」を行いました。

昨年度はコロナの影響で日程を  
短縮しましたが、今年は例年通り  
開催しました。大変人気で、受付  
初日にはほぼ定員が埋まりました。

講座は、工作教室やハイキング、  
映画上映会、文化財体験やプログ  
ラミング体験など内容豊富です。

文化財体験は、東伊那地区にあ  
る山田の富士塚登山、堅穴式住居・  
ふるさとあゆみ館の見学、勾玉づ  
くりを学びました。富士塚登山は  
東伊那区長さんが先達です。「今  
日は富士山に登ります。」「え～!!

富士山って、あの!!（子どもたち）」  
日本一の富  
士山は標高  
三七七六m、  
七m（!!）。  
お鉢も巡り  
ました。



日本一の富  
士山は標高  
三七七六m、  
七m（!!）。  
お鉢も巡り  
ました。



講座を行う上でなくてはならな  
いのが、高校生のボランティアで  
す。子どもに宿題を教えたり一緒に  
遊んだり、先生となったり。今  
年は初めて、工業高校でプログラ  
ミング体験も行いました。

子どもの頃に、場所や人との輪  
を広げ、地域の文化や自然などに  
触れて、実際に「見て・知って・  
学ぶ」機会は貴重だと思います。  
今後、子どもたちが発  
見や驚き、興味を深め  
られるよう  
な講座を考  
え、公民館  
を身近に感  
じるよう活  
動していき  
たいです。

リレー  
コラム

「長野県らしい  
公民館とは?」  
⑮

公民館が人と人との  
つながりをとりもどす

千曲市上山田公民館

前館長 児玉孝義

私たちの地区には、『まつぱり』  
という方言があります。この方言  
は、誘い合ってまとまることです。  
昔から、集まって知恵を出し合い、  
力を合わせて、よりよい地域を生  
み出してきました。

人と人との結びつきが希薄にな  
る昨今を憂い、本公民館では数  
年前から、『公民館に再び賑わい  
を!!』をスローガンに、事業に取  
り組んできました。

「公民館が人と人を出会わせ結  
ぶ」という重点として考えたこと  
は、主に①ニーズをしつかり受け  
止め、活動を転換させていくこと  
②体験とゲーム性のある楽しめる  
事業を工夫していくこと③より幅  
の広い年代を公民館に呼び込むこ  
とです。

実施事業の中から二つについて  
紹介したいと思います。

一つめは、「癒やしのサロン」さ  
く

んま事業」です。さんま（三間）  
とは、同じ空間で同じ趣味を持つ  
仲間と楽しい時間を過ごす、とい  
うもので、毎週水曜日の午後開催。  
健康麻雀、生け花、ルービック  
キューブ等、仲間と楽しんでいま  
す。今まで少なかつた男性の足も、  
公民館に向けてきました。

二つめは、若い世代を公民館へ  
迎え入れるための「子ども未来塾」  
実施です。六年目となります。が、  
中学一年生十四名、中学二年生八  
名、中学三年生三名が、八名の先  
生方と年間六十回学ぶ予定です。

公民館に若い声が弾むというのは  
いいものです。学力向上はもちろん  
のこと、塾を卒業した高校生と  
行き会うとあいさつをしてくれ、  
一公民館で地域の人にお世話を  
なったーという思いを感じます。

きっと近い将来、この地域のため  
に活躍し、公民館活動にも積極的  
に参加してくれるものと期待して  
います。

今コロナ禍で大変ですが、収束  
した暁には、公民館が中心となっ  
て『まつぱり』強き社会を目指し  
て、力強く邁進していってほしい  
と切に願っています。

ここに生きる

過疎地の交流センターから

長野市中条交流センター

所長 岩下 彰

中条村が平成二十二年一月長野  
市に合併してから十数年、その間  
全く変わらないものは、中条の面  
積。減ったものは二千三百人から  
千六百人になった人口。増えたも  
のは野生鳥獣と耕作放棄地と空家。

人口が減り、地域の住民が担う  
道路清掃など共同作業の負担が増え  
え、伝統芸能、体育・文化活動の  
縮小がされ、消滅してしまった事  
柄もあります。

中条地域の伝承・文化、文化財、  
歴史には、宮遺跡。正法寺の聖観  
音や日下野のスギなどの文化財。  
柏鉢城跡、萩野城跡などの古城跡。  
弘化四年善光寺地震災害。御柱祭。

虫倉山と大姥信仰：虫倉山の元  
穴に住んでいたとされる大姥様は、  
子どもを守る神様として、虫倉山  
を中心に虫倉神社、大姥神社など  
の祭神とされ、北東信・中南信、  
新潟県まで広く信仰されていまし

た。

山中騒動：天明三年浅間山大噴  
火の翌年、松代藩から西山中農民  
を救った無血の百姓一揆首謀者と  
された北澤清兵衛。

郷土史研究会は四十年以上も前  
に発足し、平成二年に虫倉郷土史  
研究会として再出発しました。古  
文書「山中騒動」を解読・出版に  
協力し、他にも石造文化財・仏像・  
伝説伝承・大姥様などに係る村出  
版物に関わってきましたが、平成  
二十二年に高齢化によって休眠状  
態になりました。

大人も子  
どもも少  
いに少なく  
なっていく  
中条で、先  
人たちが長  
い歴史を築  
いてきたこ  
とを、後世  
につなげ  
いきたいと  
いう方が集  
まり、先月「虫倉郷土史研究会」  
は再々出発しました。



中条地域の先人の歩みを、今  
人達の心の中にどのように位置づ

けるか。後世に伝えるにはどのようにしていけばよいのか。社会教育としてどのように関わっていけるのか、交流センターとして建物も名称も新しくなったこの機に考えていいこうと思います。

## ロビー展示の充実

安曇野市三郷公民館

主事 小松久芳

昨年からのコロナウイルス感染拡大により、公民館で行う多くの行事、講座が中止、縮小となり、こんな時期の公民館で何ができるか考えました。

三郷公民館の特徴である、広いロビーを有効活用し、多くの地域の皆さんに来館していただこうと、様々な試みに取り組みました。

最初の取り組みとして、三郷地域に点在する道祖神をマップに表して、パネル展示しました。

更に縮小版をA4サイズの冊子にまとめ、希望者への配布を行いました。

また、ショーケースには、公民館で行った講座の作品や、サークル活動で作成した工芸品の展示を行

### 「公民館講座」

小諸市公民館

事務主任 野島孝信

小諸市公民館では、市民大学や

女性学級、公民館講座、その他にも様々な社会教育活動を行っています。私はその中で公民館講座を担当し、年間を通じて様々な講座企画しています。原稿を執筆している今時期は、夏休みということもあり、主に親子向けの講座を開催しています。

直近では、「遊びながら野生の力を呼び覚まそう!」というアウトドア講座を行いました。イワナの掴み取り・カレー作りを行い、その中で刃物の使い方、火の起こし方、生き物を食べるということ等を学びました。イワナを刺す竹櫛を作るため、のこぎりと鉈を使いましたが、初めて使う子も多いようで、ぎこちないながらも楽しんで作業していました。マッチも使つたことが無いらしく、マッチを擦るためにBBQコンロの前に長蛇の列ができました。

保護者からは自分達では教えることができないのでとてもありがとうございました。生きる知恵と力を自然の中で遊びながら学ぶ講座の必要性を感じています。

第一回長野県生涯学習審議会を九月七日にWeb会議により開催しました。公民館関係者としては佐久市中央公民館の柳澤礼子館長に参加いただきました。

この会議では、次期長野県教育振興基本計画策定等に向けて、意見交換を進めていくことになります。本来であれば、広く公開されて行われる会ですが、今回は新型コロナ感染状況を踏まえ、委員の皆様と最小限の関係者によって進めました。本年度中に第二回審議会の開催を計画しています。議事録等はホームページに公開されます。第一回の会議について広く周知することができます。また、多くの公民館関係者の皆様にも関心を持っていただければと思っています。

## 第十一期長野県生涯学習審議会

県教委より



化を図りました。今までに、パネル展示として三郷地域の古道・堰、庚申塔、道標など のマップ作製を行い、展示・配布してきました。

今後も、地域に点在する隠れた文化財を調べ、地元発見・話題の提供を行い、地域活性化の一助にしたいと考えております。

加えて、地域の皆さんへショーケースの活用をアピールし、様々な展示を行い、三郷公民館へ行けば、何かしらの楽しみがある、ホーリュームへ来ることが楽しみになる、そんな三郷公民館にしていきたいと願って、活動していくかと思います。

小諸市公民館では、市民大学や 令和3年9月30日

（文化財・生涯学習課  
主任指導主事 後藤卓己）